

シルバー交通安全だより 65

平成27年 第4号

車×車の事故の割合が増加



今年に入り、『車対歩行者』の事故は減少傾向にあります。『車対車』の事故は依然として多く発生しています。

ハンドルを握ったから、運転に集中しましょう。

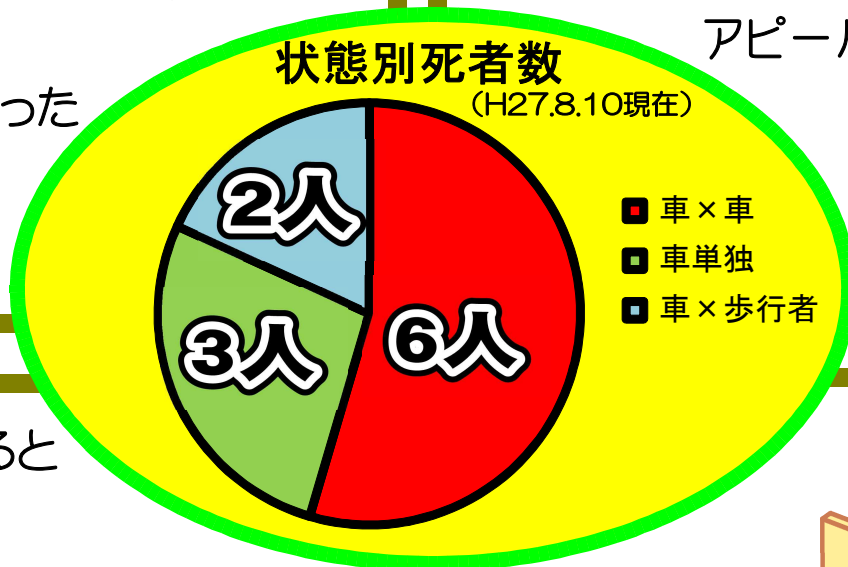
歩行者は反射材を!

歩行者の交通事故防止の秘訣は、車の運転手さんから早く自分を見つけてもらうことです。

反射材を必ず身につけ、明るい色の服を着て、自分の存在をアピールしましょう。



状態別死者数 (H27.8.10現在)



- 車×車
- 車単独
- 車×歩行者

疲労がたまると

- 眠気
 - 肩がこる
 - まばたきの回数が増える
 - 注意力が散漫になる
 - 足や腰が重くなる
- などの症状がでます。

また、

- 無謀な運転
- 姿勢の悪い運転
- 長時間の運転

などは疲労を早めます。



- 疲れを感じる前に、こまめに休憩をとりましょう。
- スピードの出し過ぎや無理な追越しなどの無謀運転はやめましょう。
- 普段から十分に睡眠をとり、体調を整えましょう。

疲れのサイン

疲労対策